



『しまの宝』

第10号 R2.8.21発行

文責：校長 日高 洋子

子ども達の夏休み

今年の夏休みは特別な夏休みで、しま留学生は久賀で過ごしました。特に、中学生の頑張り小学生のお手本です。

8月9日は平和祈念集会で登校しました。しま留学生は他県から今年初めて来たり、継続の児童生徒でも帰省していたりして、平和祈念集会を経験したことがない児童生徒が多くいます。今年は、小学生が事前に学習したことを発表し、中学生は標語を作って感想を発表したりしました。今の若い世代は戦争体験者から直接話を聞ける最後の世代だと言われています。貴重な戦争体験を拝聴し、自分の思いを自分の言葉で語ることは、未来の平和の世の中を作る上でとても大切です。残念ながらそんな機会はなかなかないのが現実ですが、子どもたちはしっかり学習をしました。

集会の終わりに、子どもたちに向けて、私の思いを話しました。

【平和祈念集会あいさつ】

1945年8月9日、太平洋戦争で長崎に原子爆弾が投下されて、75回目の夏が来ました。この年に小学1年生だった人は今年で82歳になります。中学3年生だった人は、90歳です。原爆が落とされて、長い時間が過ぎました。

ずいぶん昔のことなので、当時のことを知っている人が少なくなっています。ここにいる先生方も、誰も経験したことがありません。ですが、毎年この日になると長崎県の小・中学校では、平和集会を行います。

なぜでしょうか。みなさんのこれまで通っていた学校ではどうでしたか？毎年8月6日や、9日はどんな過ごし方をしていましたか？

長崎県では、「平和を考える日」「祈る日」「平和を実感する日」として大事にしたい日です。原子爆弾が落とされて75年が過ぎ、誰もが見向きもしない1日にしてはいけません。



1発の原子力爆弾の犠牲者は広島が約14万人、長崎は約7万3千人が亡くなりました。今日までに爆弾が原因の、けがや後遺症などで苦しんで亡くなった人を合わせると、2つの都市で50万人以上の方が亡くなったと言われています。このような悲劇が繰り返されてはいけません。家族を失う悲しみを味わわせてはなりません。



現在、世界には原子爆弾よりもっと威力のある爆弾を持っている国がありますが、75年前の太平洋戦争において、長崎に原子爆弾が使われて以来、75年間、日本以外の国には、どこにもこのような威力のある爆弾は使われていません。日本は世界で初めて戦争によって2つの原子爆弾が使われた国なのです。

私たちは原子爆弾の被害を経験した国に生きる者の役割として、長崎を最後の原子爆弾の被害を経験した国にしなければいけません。そのためには戦争によって尊い命が失われるなどの悲劇が再び繰り返されることのないよう、平和の実現を考えていくことが大切です。たとえば、私たちが毎日できることとして、お互いを思い合うことがあります。自分の周りの人を大事にすることや優しい気持ちを忘れないということが世界の平和に繋がる第1歩となります。

みなさんが、来年、再来年と、将来この久賀、長崎県を出て、東京や大阪に就職したり、しま留学生在が自分の生まれ育ったところに帰ったりしても、8月6日や8月9日を「平和を考える日」として、覚えておいてほしいと思います。そして周りの人にも伝えて、この日の意味を一緒に考えてください。

今日は1日、みなさんの心の中で、静かで優しい気持ちが続くといいなと思っています。



2学期の行事について

9月20日(日)には公民館との合同運動会が開催されます。中学生は運動会のプログラムに太鼓の披露があります。1学期から練習を始め、地域の皆さんに喜んでもらえるように頑張っています。

しかし、今年の運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年よりも縮小し、開催されることが決定しています。地域の皆様にはご不便をおかけしますが、当日は感染防止のため検温、手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンス(隣の人との距離をとること)などの徹底をご協力ください。

学校では、4月から給食も対面してとることをやめ、無言で食べています。なお、3密を避けて、隣の人との距離をとっています。毎日の消毒も、手指はもちろんですが、校舎の中も毎日徹底して行っています。運動会を楽しむためにもぜひご理解とご協力をお願いいたします。

小学校は10月に崎山小学校との交流学习、奥浦小学校との陸上記録会を控えています。いまだに、終息していない新型コロナウイルス感染症ですが、感染防止対策を徹底させ、子ども達の学習体験を積ませたいと思います。

厳しい駅伝練習が 続いています！

今年の夏は、気温が高く体育館での部活動も厳しいですが、今、中学生は10月の駅伝大会に向けて練習を頑張っています。例年の夏休みは帰省で練習はできていませんでしたが、今年は7月の後半から練習を始めています。駅伝の練習ではありませんが、卓球の新人大会への体カトレーニングでもあります。決して、楽な練習ではありませんが、個人の目標をしっかりと立てて、頑張っています。地域の皆様の応援をよろしく願っています。

なお、駅伝大会の開催については実施の有無がはっきり決定されていません。5月の総合大会などのように、応援が規制されたり、内容が縮小されたりなど、例年と同じようにはできない可能性があります。駅伝大会に限らず、今後の行事の変更については決定次第、学校だよりやホームページでお知らせしたいと思います。



↑足の故障で走れない壽之亮さんは頑張るみんなを支えて給水などを行っています。